

このまちの100年

「八尾」

江戸後期に河内木綿の生産で栄えた八尾。明治期以降、その技術から撚糸、ブラシなどの工業も発達しました。戦後の高度経済成長期に全国有数の工業地域となり、現在は大阪東部の中核的な都市として発展しています。



明治40年頃

中学校令の改正後、若江郡八尾村に大阪府第三尋常中学校が開校。その後現在の八尾市本町三丁目8番付近に移転、明治34年に大阪府立八尾中学校へ改称された



昭和6年頃

大阪府立八尾高等女学校から東側、河内平野とその先の生駒山地を望んだ風景



昭和31年

八尾飛行場での八尾空港まつりの様子。米軍機や民間航空機など20数機が並んだ



昭和31年頃

竜華操車場。久宝寺駅の西側から生駒山地方面を撮影している



昭和53年

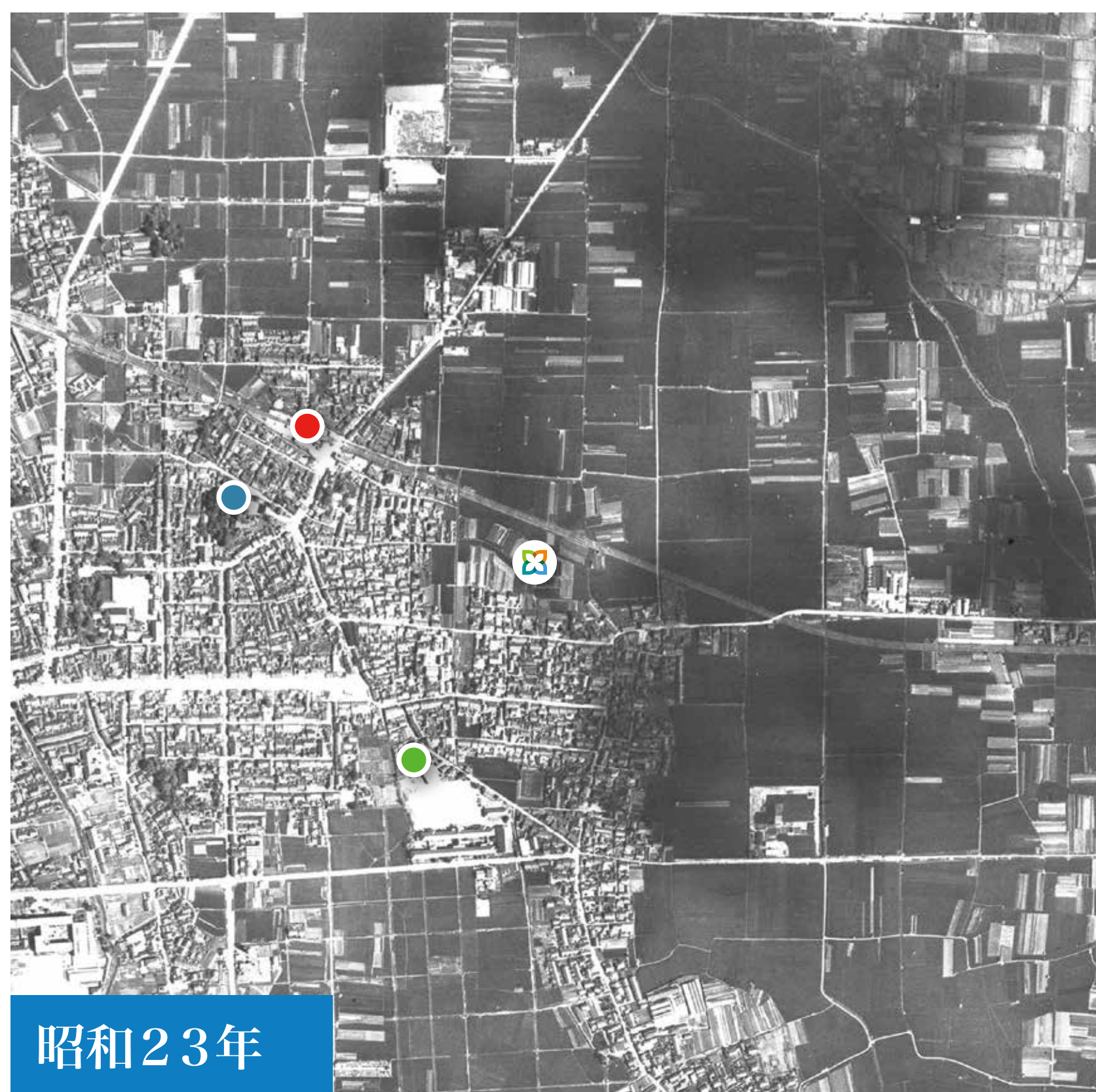
第1回八尾まつりで行われた総勢700名の河内音頭大行進の様子



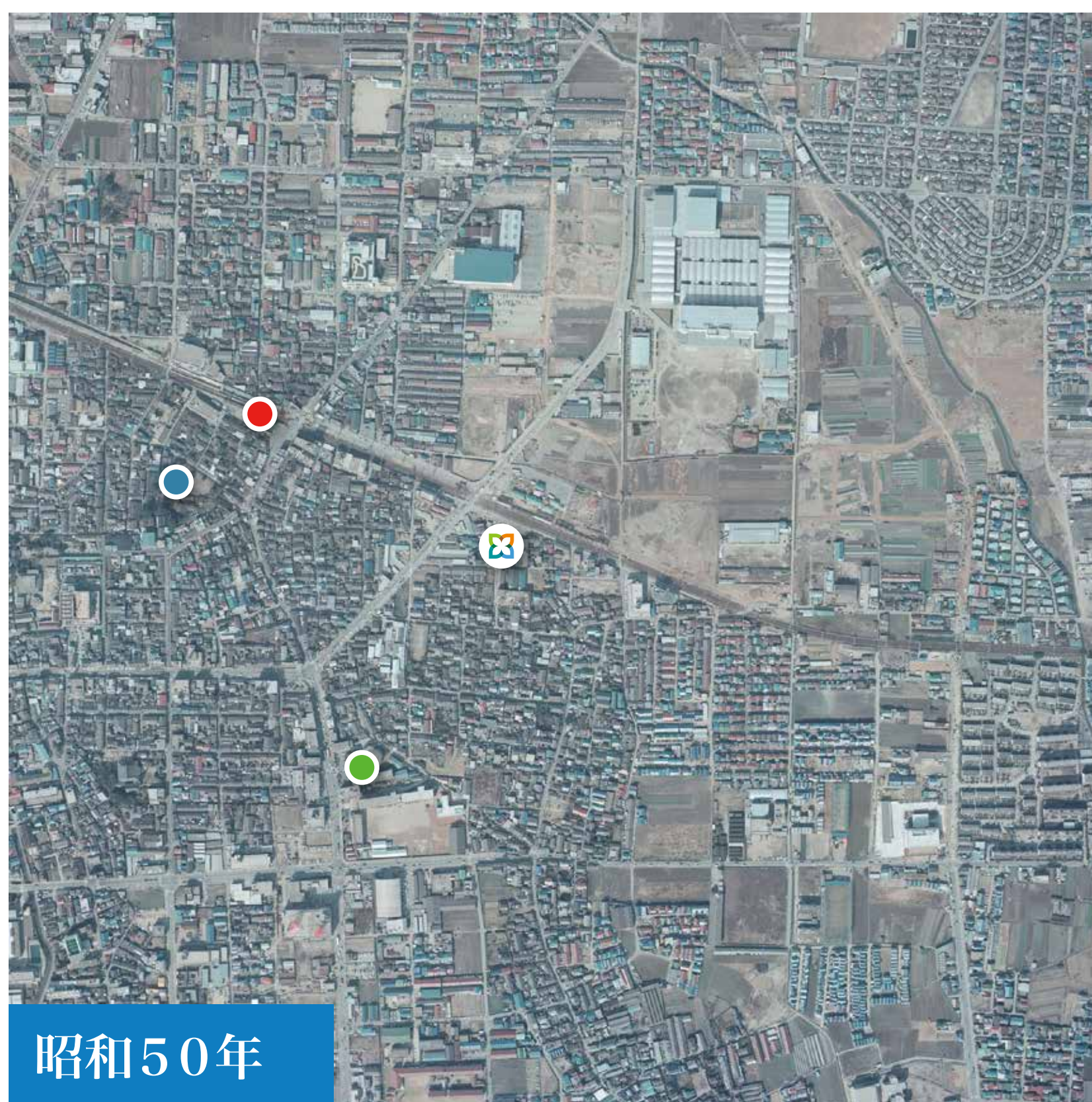
令和3年

茶吉庵。江戸時代の木綿問屋、茶屋吉兵衛の築280年になる建物が再生されている

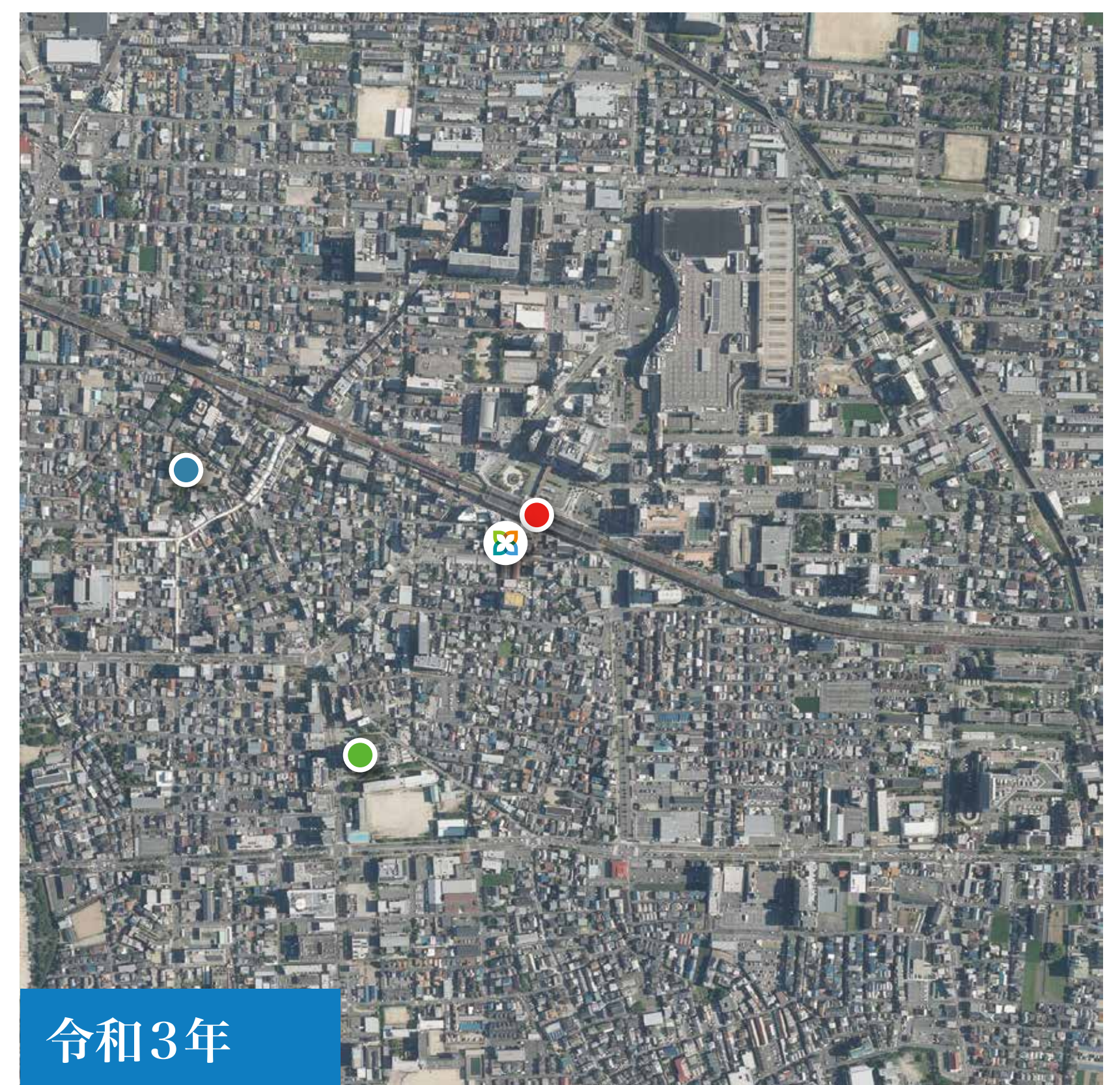
上空からみた八尾エリア



昭和23年



昭和50年



令和3年

●：常光寺 ●：八尾市役所 ●：近畿日本八尾駅／近鉄八尾駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ